

第1回当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会要旨

- 1 日 時 令和2年7月29日(水) 10時00分から12時00分
- 2 場 所 当別町役場 1階 大会議室
- 3 出席委員 別添名簿のとおり
- 4 町出席者 事務局：熊谷部長、三上参与、石原主幹、寺田主任、平田主任
- 5 傍聴者 1名
- 6 審議会要旨

(1) 委員長挨拶

本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。平成26年にまち・ひと・しごと創生法が制定されたことに伴い、当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しております。内容としては4つの基本構想があり、この基本構想を計画的・総合的に推進するために本委員会がスタートし、提言や答申を行ってきたところであります。令和元年度をもって第1期の総合戦略が終了しており、本日はこの計画のKPI及び状況報告を受け、当別町への提言を前提としたご意見をいただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

(2) 委員の交代について

(事務局)

当別町行政推進員連絡協議会の会長が交代となり、新たに小田島正高様が当委員会の委員に就任されておりますのでご紹介させていただきます。

(小田島委員)

よろしくお願いいたします。

(事務局)

今後とも、何卒よろしくお願いいたします。

(3) 議題

① 令和2年度スケジュールについて

資料1に基づき、石原主幹より説明。

② 第1期総合戦略の進捗状況について

資料2に基づき、石原主幹より説明。

(宮崎委員)

資料1のスケジュールについて、12月に議会への報告が予定されておりますが、国の制度として5年間の評価を行い議会に提出し、国へ報告するといったことになっているのでしょうか。

(事務局)

そのような決まりはございません。これまで行ってきた実績をまとめ、それに伴うKPI等を議会に報告しようと考えております。

(宮崎委員)

承知しました。委員の意見については、意見書として報告書に添付される形になるのでしょうか。または、報告書の案を委員会で検討し、各委員の意見を溶け込ませるような形で報告書を作成するものになるのでしょうか。

(事務局)

報告書に意見書を添付させていただくことを考えております。

(川村委員)

『(1)－②当別町農業10年ビジョン推進プロジェクト』になりますが、農業産出額が増えていることは非常に喜ばしいことであり、いい結果であったと評価していることだと思います。ただ、どの部分が伸びたからこういった結果となったのか細かな分析が必要かと思えます。

(事務局)

承知しました。そういった細かな分析を行ったうえで報告書を作成いたします。

(宮崎委員)

『(1)－③当別町道の駅プロジェクト』と『(3)－⑥destinationマネジメント in 当別プロジェクト』に関連することですが、道の駅において、当初の目標よりも多くの利用があったことは、第1期総合戦略において大きな成果であると思えます。観光入込客数の大きな増加にも、道の駅の建設は効果が大きかったのではないかと考えます。

一方で、各地の道の駅では、コロナウイルスの影響を踏まえた新しい動きがみえてきております。鹿部の道の駅では、映像で実際に買い物をしているかのようにできる取り組みがあり、他の道の駅でも手作りマスクの販売や食事のデリバリーサービスを始めているなど、コロナウイルスを踏まえた様々な取り組みを考えていく必要があると思えます。また、今までは道外の人や外国人の呼び込むために、他市町村との広域的な連携が大事であったかと思えます。その部分は変わらないことではありますが、現在はショートトリップのニーズが増加傾向であり、札幌近郊の観光地がにぎわっている状況です。

そういった近くの人を呼び込むためには、地域ならではの特色が必要であり、町内のお店や資源との連携が今まで以上に大事になってくるかと思えます。

(事務局)

大きな成果だというご意見をいただきまして、ありがとうございます。

道の駅もコロナウイルスの影響で休館したこともあり、売り上げが下がった時期もございましたが、現在は、with コロナ・after コロナを考えながら再始動をかけているところでもあります。宮崎委員からご提言いただいたことも含めて道の駅で様々な取り組みを実践していきたいと考えております。札幌に非常に近い道の駅であることから、他の

道の駅よりも、平日を含めて入込が増えてきているという感覚を持っております。また、密を回避しながら買い物をしてもらうために、レストランでのテイクアウトメニューの開発や、実際に札幌へ動くイメージでのデリバリー、インターネット販売の商品開発も手掛けさせていただいております。地域の企業の方といかに連携していくかという部分については、商工会にご協力をいただき、地域の飲食店が道の駅に来ていただいて物販をしていただけることになりました。

宮崎委員のご提言に十分に配慮しながら新しい取り組みを進めて参りたいと思います。
(佐々木委員)

K P I の達成状況において、コロナウイルスの影響は受けているのでしょうか。また、第2期についてはコロナウイルスの影響を加味しながら運営していくことになるのでしょうか。

(事務局)

第1期のK P I 等について、影響はあまりないのではないかと考えておりますが、例えばコミバスの利用者数について、実績は過去最高でありましたが、2・3月だけの利用者数でみると前年度同月より下がっているなど、影響を受けております。

第2期総合戦略については、大きな影響を受けると考えており、この状況が続くようであればK P I 等の下方修正も含めた見直しが必要になる可能性もございます。

(高橋委員)

商店街が疲弊している中、コロナウイルスの影響で飲食店が大打撃を受けており、廃業を余儀なくされることも予想されております。また、空き店舗も存在していることから何かしらの活用を今後考えていきたいと思っております。

商店街の元気がない所は、まち全体の元気がないといったこともありますので、今後の課題として後日意見を述べさせていただきたいと考えております。

(黒澤委員長)

『(1)－④商工業活性化プロジェクト』にある年間販売額は平成27年度と比較すると大きく増加しておりますが、何らかの取り組みの結果なののでしょうか。

(川村委員)

こちら細かい分析がないため、伸びた分野がわからないものになっており、詳細な分析結果が必要かと思っております。

(高橋委員)

商工会では、町と協力しながら創業塾を実施しておりまして、新規創業者が少しずつ増えてきているところです。少しずつではありますがまちに賑わいができてきているので、今後も取り進めていきたいと思っております。

(川村委員)

土地改良に係る予算が増えてきていることから、建設業の売り上げは伸びているのではないかと思います。詳細に分析していただければと思います。

(事務局)

承知しました。

(鴨崎委員)

『(3)－⑥デスティネーションマネジメント in 当別プロジェクト』ですが、ほとんどが道の駅の来場者数の増加に伴うものかと思います。他の部分は実際に伸びているのでしょうか。実際に当別町に住んでいますが、観光客が増えている印象はないので、今後はいかにして道の駅の利用者を町内に呼び込むかが課題になるかと思います。

(事務局)

ご指摘のとおり、道の駅から町内にどのように周遊させるかは課題となっており、何か違う視点での観光戦略が求められてくるのではないかと考えております。現時点では大きな特徴がある観光を見出せていないですが、逆にこれから見出すことができれば、大きな効果が期待できる可能性があると考えております。

また、単純に観光入込客数から道の駅の利用者数を差し引いた場合ですが、平成27年度と比較すると若干ではあるものの増加してきており、温泉やゴルフ場の企業努力や道の駅の開業効果は表れてきていると考えられます。ただ、当別町の観光施策として道の駅の利用者を町内に周遊させる取り組みは、必要があると考えております。

(宮崎委員)

『(1)－④商工業活性化プロジェクト』について、先ほど話題になりましたが、ここ数年で新しく飲食店ができていることは素晴らしいことだと思います。コロナ禍においても、人と人とのつながりは大切だと言われておりますが、学生やご高齢の方が商店街に出て集まるきっかけになる場所だと思いますので、出てきた芽を残していけるよう、道の駅との連携や町民の皆様に安心して利用していただけるような場所だということを知ってもらうことが必要かと思います。

また、コミュニティバスについて、利用者数が増加していることはとても素晴らしいことだと思います。なぜ利用者数が増加したと分析しておりますか。

(事務局)

コミバスの利用者の特徴として医療大学生が非常に多いことが挙げられます。全部で4系統ある路線のうち、それぞれの系統で増減はありますが、あいの里金沢線が大きな伸びを見せております。要因としては、医療大学生の町内居住者が増えたことが、コミバスの利用増にも繋がっていると考えております。

(宮崎委員)

承知しました。コミバスについてもコロナウイルスの影響を踏まえて、新しい対応が必要になるかと思います。公共交通が事実よりも恐れられていることもありますので、コロナウイルス対策をしたうえで安心して利用することができる移動手段であると知ってもらうことが大切かと思います。

(事務局)

承知しました。ありがとうございます。

(黒澤委員長)

『(4)－①小中一貫教育推進プロジェクト』について、全国学力・学習状況調査でKPIを達成することができたことは素晴らしい成果だと思います。教育現場の方々にも知っていただいて、少しでも励みになればと思います。

(事務局)

様々な取り組みによる成果が表れてきたと考えており、今後も継続して目標を達成できるよう、進めて参ります。

(4) その他

(事務局)

第1期総合戦略における意見・提言を皆様からいただきたいと考えており、あらためてご案内させていただきますのでよろしくお願いいたします。いただいた意見や提言を集約し、10月に開催を予定している第2回の推進委員会にて決定させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。日程については、別途調整させていただきます。

(5) 閉会

(黒澤委員長)

これにて、第1回当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会を閉会いたします。どうもありがとうございました。